

指定管理施設事業評価票(令和4年度分)

1. 施設所管課 **教育委員会事務局 生涯学習課**

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市立図書館(今市・日光・藤原)		
	所在地	日光市中央町29番地1 日光市御幸町4番地1 日光市鬼怒川温泉大原1404番地1		
指定管理者	名称	株式会社図書館流通センター・株式会社近代ビル管理社共同事業体		
	代表者名	株式会社図書館流通センター 代表取締役 谷一 文子		
	住所	東京都文京区大塚三丁目1番1号		
指定期間	令和4年4月1日	～	令和9年3月31日	5 年間
選定方法	公募	評価実施年	5 年間のうち	1 年目
施設設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクレーション等に資するとともに、郷土文化の発展に寄与することを目的として、日光市立図書館を設置する。			
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務(資料の貸出・返却・予約・検索・調査相談・相互貸借) ・資料発注業務及び資料の登録、整理、除籍等(資料の選定、発注、データ処理、配架、除籍処理、リサイクル) ・自主事業の開催(展示、各講座等の企画及び実施、事後報告) ・市内小学校への移動図書館の定期的実施 			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 資料貸出数	点	338,200	316,197								
b 市民一人あたり貸出数	点	3.75	4.06								
c 事業開催件数	回	88	92								
d 管理運営全般の満足度	%	88	85								
e 接遇の満足度	%	88	97								

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入計 A	156,364,313	0	0	0	0
指定管理料	156,340,673				
利用料収入 C	0				
自主事業収入	0				
その他	23,640				
支出計 B	153,037,858	0	0	0	0
指定事業費	152,047,005				
内 人件費 D	91,242,093				
内 外部委託費 E	4,810,180				
自主事業費	990,853				
事業収支 A-B	3,326,455	0	0	0	0
人件費率 D/B	59.62%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	3.14%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	今市図書館での防災アンテナ設置にかかる電気使用量の収入があった。
------	----------------------------------

サービス改善の状況

新型コロナウイルス感染症対策のため移動図書館を貸出文庫に切り替えて行っていたが、4月から対面貸出を再開した。
学校により感染者増加の場合は貸出文庫を希望する巡回予定日もあり、柔軟に対応した。
電子図書の利用促進のため、3館スタッフが協力して電子図書の選定を行い、より充実したさまざまなジャンルの電子書籍を取りそろえた。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価	
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B B B	B B B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B B	B B	
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B	
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B B	B B	
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B B	B B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B B	B B	
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B B	B B	
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B B B	B B B	
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】		B	B
	② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、閉館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B B	B B
利用者対応		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B B B	B B B	
事業運営		事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B B B	B B B	
維持管理		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B B B B	B B B B	
環境配慮		環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
広報活動		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B	
苦情等対応		要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B B	B B	
利用者アンケート		利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B	
利用状況		利用実績は、目標水準である。	B	B	
総括		「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】		B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B	
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B	
総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】		B	B	
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価) 新型コロナウイルス感染予防のため貸出文庫として運営していた移動図書館を、対面貸出に戻したことで、子供たちが自由に資料を選び、本を読む楽しさを実感させることができた。GIGAスクール構想にあわせ、電子図書館の利用促進のため、市内小中学校にIDの発行や学校に出向き説明会を行った。世界と日本の名作絵本をより多くの人に読んでもらおうと、3館ともに所蔵している栄作絵本を調べてリストを作成、「読み継がれる絵本たち」を3館で開催し、利用者にとっても好評だった。				
	(所管課評価) 今年度も、新型コロナウイルス感染対策をしつつ各種事業を行い、適切に対応していただいた。 移動図書館においては、対面貸出に戻ったことによりこれまで以上に貸出数が増加するよう、子どもたちの読書への意欲・関心が向上するような創意工夫しながら取り組んでいただきたい。自主事業においても、来館者が増加するような魅力ある事業の実施に取り組んでいただきたい。また、来館者が増加することに伴い、これまで以上に窓口や電話などの対応に気を配りつつ、サービスの向上に取り組んでいただきたい。				
前年度総合評価	B(良好)		総合評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。 B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。 C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。	
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。	
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上 B(良好) = A、C以外 C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。 B(良好) = A、C以外 C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。